



## 改正法はどこへ！！ 加重平均713円

- 生活保護基準との“かいり”解消も期間延期に
- 従来型の中賃目安「現状維持」が重石に

8月に入り地方最低賃金審議会の審議は本格化しました。目安額が示されなかった地方でも、「ゼロではない」「最賃法改正の趣旨に則した改定を」「地方労使の判断で引き上げを決めるべき」として奮闘を重ねてきました。引き上げ「ゼロ」は新潟と岐阜の2県のみにとどめました。改正最低賃金のもとで全国のなかまが様々な運動を盛り上げた結果です。

北海道	+11	678円	滋賀	+2	693円
青森	+3	633	京都	+12	729
岩手	+3	631	大阪	+14	762
宮城	+9	662	兵庫	+9	721
秋田	+3	632	奈良	+1	679
山形	+2	631	和歌山	+1	674
福島	+3	644	鳥取	+1	630
茨城	+2	678	島根	+1	630
栃木	+2	685	岡山	+1	670
群馬	+1	676	広島	+9	692
埼玉	+13	735	山口	+1	669
千葉	+5	728	徳島	+1	633
東京	+25	791	香川	+1	652
神奈川	+23	789	愛媛	+1	632
新潟	0	669	高知	+1	631
山梨	+1	677	福岡	+5	680
長野	+1	681	佐賀	+1	629
富山	+2	679	長崎	+1	629
石川	+1	674	熊本	+2	630
福井	+1	671	大分	+1	631
岐阜	0	696	宮崎	+2	629
静岡	+2	713	鹿児島	+3	630
愛知	+1	732	沖縄	+2	629
三重	+1	702	平均金額		713円

### 中賃の『現状維持』が重石に 33県で目安1～5円

09年度の各地方審議会の地域別最低賃金の答申が、全国47都道府県で出そろいました。昨年に引き続き厚生労働省が低く見積もった「生活保護基準」との対比で、本来の生活保護基準や最低生活費保障の要求には及ばない水準となり、地域間格差がいつそう拡大しました。

#### <今後のとりくみ>

- ① 地方最賃審議会へ異議申し立てを期間内にとりくみましょう。
- ② 発効日は10月～11月とばらつきます。この間「最賃1000円以上」「全国一律最賃制確立」の要求を世論化する宣伝を強め、総選挙の中で政治の争点とさせていきましょう。
- ③ 最賃審議委員の偏向任命の課題を世論化させていきましょう。
- ④ 09秋闘のなかでも上記3点を柱として議員要請行動など様々な行動に積極的にとりくみましょう。



最賃くん携帯ストラップは『かわいい!!』と好評です。